

「青いダイヤ」七折小梅

(農事組合法人 ななおれ梅組合)

<法人の概要>

所在地：愛媛県砥部町

設 立：平成 19 年 10 月

資本金：434 万円 売上高：2,996 万円（平成 23 年）

構成員（議決権）：農業従事者 25 名

役 員：3 名（うち農作業従事 3 名）

従業員数：常時雇用者 0 名、臨時雇用者 5 名

経営面積：3.9ha（うち所有 0.1ha、借入 3.8ha）

作付作物：七折小梅 3.9ha



基幹作物「七折小梅」



農道整備

<営農を開始するまでの状況>

法人設立前にあった七折梅出荷組合の頃は、ＪＡ出荷による販路が中心となっていたが、価格の低迷を機に、組合によるエコファーマーの取得などに取り組み、ブランド化に努め、販路の開拓を進めてきたが、農家の高齢化に伴う耕作困難な農地を集積することを目的に平成１９年に法人を設立した。

近年では、酒造会社や食品会社といった地元企業でも七折小梅を活用した商品開発が進み、加工品の製造販売も手掛けるようになり、新たな法人運営にも期待が持てるようになってきた。

なお、法人化以降、今後も農地を集積していくことで収益性の高い生産基盤の安定化を図り、生産量を確保する方針である。

＜特徴的な取組＞

安定した価格販売を目指し、平成 21 年には、加工施設を建設して（国補事業活用）、青果販売のみの体系から、自らが加工・販売を行うようになった。

加工品としては、梅干しや、梅シロップなどを生産しているが、特に梅干しづくりに力を入れており、平成 23 年度は 5 トン生産している。

また、生産開始して間もないながらも、全国梅干しコンクールで優秀賞を受賞するほどの、美味しい梅干し作りを実践している。

その他に、梅祭りのイベントを行ったり、地元小学校の生徒を招き収穫・梅干し作りの体験学習を行うなど、商品販売や食育活動にも取り組み、七折小梅を P R している。

※加工施設概要

事業費 45,660,000 円税抜き 国費 22,830,000 円

規 格 農産物加工施設 鉄骨造平屋建 建築面積 189.00 m²

加工品 梅干し、梅肉、もみじそ、梅シロップ（外注品：梅ドレッシング、梅酒、梅ポン酢）

＜今後の農業経営の展開方向＞

今後は、加工品の生産を安定させ、加工品の販路開拓にも努めて行きたい。

また、建設した加工施設を活用し、新商品の開発を目指している。

高齢化が進む集落内で耕作放棄地化を防ぐ為にも更なる集積を進めて行きたい。

＜今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス＞



七折梅祭り



小学生農作業体験